



このプランのガレージに収めるのはBMWのS1000RRとRnineTスクランブラー。ドイツ車ならではの、高い完成度を誇る車体とLGS骨格が共鳴するガレージ空間は鉄感が満載です。ちなみに天井のスポットライトは、鉄骨の梁にセットされたライティングダクトに自由に脱着可能となっているので、必要に応じて角度や個数を調整できるのもうれしいポイント。あえて鉄パイプで露出配管した電気配線のスイッチ、コンセント類もこだわりの仕様なのです。



#01 Garage that stores 2 motorcycles

バイク2台を格納して 自らメンテを楽しむ場所

GLBのガレージは階段を除く実面積で5.5坪、約18㎡の空間ですからバイクならば4～5台は格納できます。しかし台数を限定して少しスペース

をキープ、リフトやツールキャビネットを設置する。そして愛機を心行くまでメンテナンスするための秘密基地として活用するのも魅力的です。

ハードボイルドタッチのガルバリウム界壁をバックに、愛機のエンジンやパーツ類、そしてツール達は金属本来の素材感を感じさせてくれます。適度なスポットライトに照らされる光沢感もリアルそのもの。ツヤ消し黒の鉄骨骨格と共鳴して、バイクのフレ

ームが浮き立ってくるから不思議です。何事も骨格が大切なのです。

バイクとともに建築も楽しんでしまおう。短い時間でもあなたの集中力は研ぎ澄まされていきます。まさにバイク好きにとっても夢空間。至福の時間を楽しんでください。

Specialthanks/Motorrad Sapporo-Minami TEL:011-375-7305 URL:www.motorrad-sapporo-minami.bmw-motorrad.jp

Bike Info

S1000RR Premium Line:
2,195,000円(税込)
R nineT Scrambler:
1,765,000円(税込)



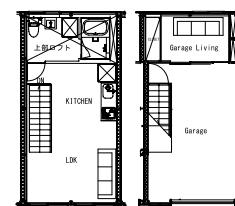
What's GLB?

“GLB”とは、ガレージ×リビング×ベッドの略。クルマ好き、バイク好き、アウトドア好きにとって、これだけあれば十分という3つの要素を軸に、デイトナハウスのLGSシステムを使って設計される新機軸のガレージアパートメントの名称です。

ガレージアパートメント“GLB” その内部空間を本邦初公開！

9月末の完成を目指して急ピッチで工事が進む、“GLB”の第1号物件、苫小牧の『AREA053』が、ついにそのインテリアを大公開。今回は気になるその全貌をレポートします。

Text/Atsushi TAMADA Photo/Ken TAKAYANAGI



1Fにはガレージとガレージリビング。2Fはキッチン、トイレ、バスルームといった水まわりが備わるLDKとして設定。更にLDK上部には6.6㎡の豊かなロフトスペースが、気になる家賃は7万6000円～8万2000円となっています。

これがGLBの内部空間だ！
デイトナハウスが自信を持って企画する新機軸のガレージアパートメント“GLB”。そのガレージ空間の魅力は、他ではお目にかかれないガルバリウムの界壁とツヤ消し黒の軽量鉄骨のコントラストにあります。一般に、アパートのような共同住宅は隣家との壁の法的制限が厳しくこの「界壁」と呼ばれる特殊な二重壁を義務づけられています。そのため普通にガレージを作るとプラスチックボードとビニールクロスに壁になってしまいます。とは言え、デイトナハウスは骨格住宅ですから何としても鉄骨を感じられる空間にしたい。そこで工夫を凝らして編み出したのが、このガルバリウム界壁なのです。鉄骨フレームに縁どられて、まるでコンテナのようなハードなイメージ。表面材の演出ではなく、建築の構造そのものの演出ですから嘘がない。2Fの居住性も加味した断熱コンクリート板・Gスラブ。の天井も世田谷ベースと同一仕様。鉄骨梁の素材感と緊張感がなんとも嬉しい仕様なのです。



LOFT



2F

豊かな吹き抜け空間が
魅力の2F LDKスペース

GLBの2Fは、世田谷ベースと同じの曲面屋根“Rスパン”が作り出す巨大な吹き抜け空間が特徴です。平面的な面積の数字だけではわからない利用価値。寝床になるロフトから見下ろしたリビングスペースは新しい賃貸住宅のカタチを実現しています。毎日の元気が湧きあがってくること間違いなし。

1F



1F奥にはガレージリビングを設定

1Fガレージ奥には、ガラスの間仕切りで仕切られた小さな空間を構築。GLBの魅力の一つである“ガレージリビング”と呼ばれるスペースです。単にクルマやバイクを格納するだけでなく、長時間ここで過ごしながらか愛機との時間を大切に。あるいは趣味を同じくする友人と語らう場所として、必要にして十分なスペース。使い込んだ愛着のソファを置いて、一服してください。

#03 Garage that stores 1 car and 1 motorcycle

とっておきのクルマ1台とバイク1台 ベーシックな大人のガレージライフ

GLBのガレージスペースはクルマ1台を収めた場合、バイクは2台まで格納可能です。このプランで注意すべきは車幅です。ラングラーやランクルの様な大型SUVと、バイク

2台という組み合わせだと、少しぎっしりした印象にはなります。だとすれば、あまりモノを入れる方向ではなく、とっておきのクルマ1台、バイク1台という取り合わせがオスス

メです。これであれば、スペースには余裕もでき、出来る男ならではの落ち着いた印象になるからです。後はガレージリビングを利用してギアや工具類を上手にその空間に収めるこ

とが腕の見せ所になることでしょう。朝、最奥の開口部から差し込む光に照らされた愛車に乗り込み、電動シャッターが開けば、出撃気分は満たされること間違いナシ。



Car Info
MINI COOPER S
CONVERTIBLE
(ペッパーホワイト):
4,100,000円～



GLBのガレージスペースは、シャッター有効ワイド寸法2.48mですので、ほとんどのクルマは格納可能です。また、機械的な吸排気性能を十分取れるように配慮。排気ファンと同一性能の吸気ファンが強制的に作動して、効率よくガスを排出する機構です。あまり威勢よく吹かすことはお勧めしませんが、ガレージ内でエンジンを起動する喜びは十分満喫できるのです。

Specialthanks/MINI札幌(株式会社モーターレン札幌) TEL:011-860-3200 URL:www.sapporo.mini.jp

現場内覧もスタートしています！



右の写真は、現在絶賛作業中のAREA053を空撮したものです。総世帯数は25室。鉄骨がそのまま引き出しの意匠になり、空間を構成すること。またその骨格がカッコいいバイクやクルマと共鳴することを知っている現場の職人さんたちも、いっぴくなくやる気満々なのです。



Photo/Yoo NAKAMURA



外構工事の舗装や基地で見かけるフェンス工事も完備すれば、いよいよ新機軸のモーターライフ天国が出現する運びです。次号では、2Fの内

部空間の完全情報もお知らせする予定ですが、本誌が書店に並ぶ頃には、現場では希望者がいつでも内覧できるようにになっていますので、こちらにも要注目。ガルバリウム壁とツヤ消し黒鉄骨の秀逸なガレージ空間。Rスパンの作り出す豊かな吹き抜け空間がうれしい余裕の居住スペース。そのポテンシャルと全く新しいモーターライフの幕開けを実感してください。詳しくは専用WEBサイトをご覧ください。



AREA 053 www.daytona-house.com/area053
area053.site | DAYTONA HOUSE HOKKAIDO |



Specialthanks/AutoStudio 2&4
TEL:0144-55-0110 URL:as2and4.com

#02 Garage that houses your active sports gear

アクティブスポーツギアに 囲まれた遊び心溢れる空間

GLBのガレージ空間はクルマやバイクの格納に留まらない新しいイメージを提供します。その意味では、従来の“車庫付き”という売り文句のアパートとはそもそもコンセプトが全く違うと考えてください。GLBのガレージ空間は、まさにそこに生活の中心があるのです。その可能性はアウトドアライフ全般、または同好の趣味を持つ人間の数人でのシェア賃貸、レンタルバイクのネットワークを生かした民泊施設へと、いろい

ろな方面に進展していくポテンシャルを持っています。例えばここで提案する空間は北国の苫小牧ならではの趣向で、オフ系のギア類を格納したもの。スキーやキャンプ道具はもちろんのこと、スノーモービルやマウンテンホースなど普通のガレージではなかなかイメージのわからないものも、ごく自然に感じます。LGSの鉄骨はこの手のブランドが採用するビビッドなカラーとのマッチングも最高なのです。



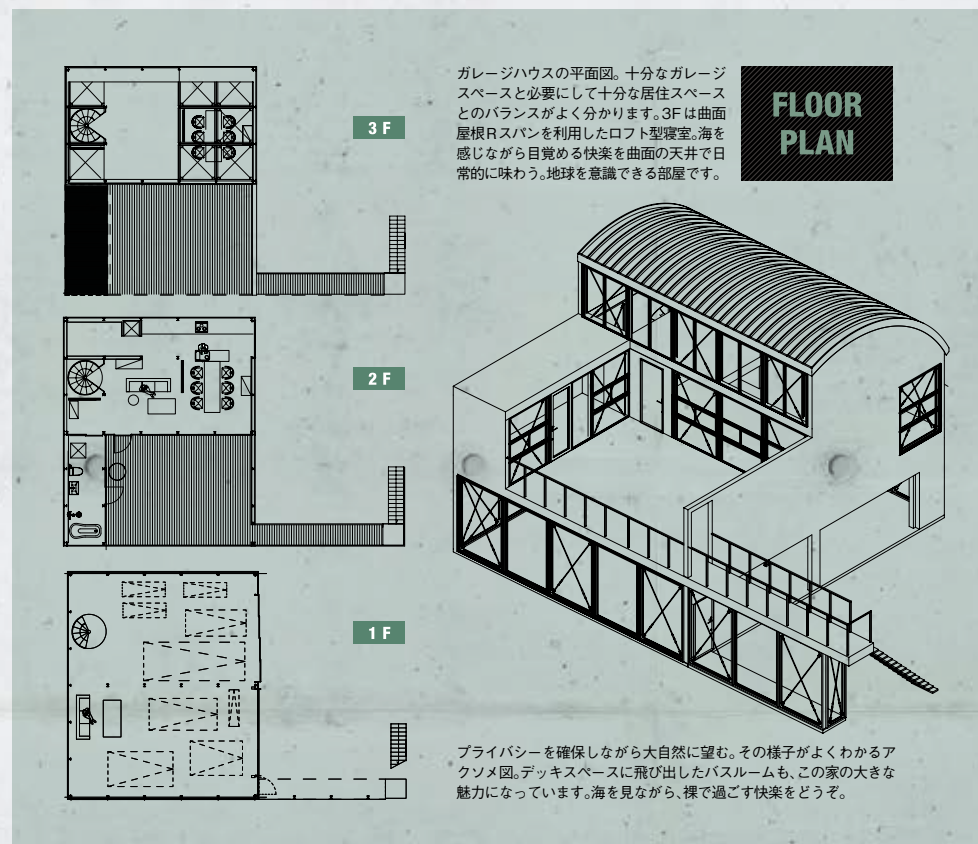
ガレージ空間最奥のガレージリビングの使用例。案外場所を取るタイヤやオイルなどもディスプレイ的に楽しんでもらうのもグッド。構造的に奥の壁に配置されたダブルブレース(筋違い)も世田谷ベースと同一形状。このスペースは2坪。十分ですね。

ツヤ消しブラックのガレージ空間に様々なギア類のビビッドカラーが生える。奥のガレージリビングを濃密にして、手前を変化させるディスプレイもその都度楽しいものです。アクティブギアなど個性が輝く、遊び心溢れる世界に一つの空間になりますね。



デッキスペースからリビングへ。吹き抜けと天井のコントラストは、落ち着きと開放感を両立。奥のキッチンスペースはデイトナハウス特製のガルバリウム壁。ハードボイルドな男のキッチンには、キャンプ用のツーバーナーが最適。

ガレージから螺旋階段を上って2Fのリビングにきた瞬間、光と影のコントラストを感じることができる。このガレージハウスの豊かさを表現したカット。落ち着いた家具類と鉄骨の素材感の絶妙な雰囲気、外部の海の風景がさらに魅力的に演出してくれます。季節によって、時間帯によって無限の組み合わせで部屋の表情が変化します。この良質な刺激を毎日の生活のリズムに組み入れることができるのですから、思わず都会の暮らしがすすて見えますね。親しい友人を呼んで気の置けないパーティをする場所としても最良です。



FLOOR PLAN

ガレージハウスの平面図。十分なガレージスペースと必要にして十分な居住スペースとのバランスがよく分かります。3Fは曲面屋根Rスパンを利用したロフト型寝室。海を感じながら目覚める快楽を曲面の天井で日常的に味わう。地球を意識できる部屋です。

プライバシーを確保しながら大自然に望む。その様子がよくわかるアクトメ図。デッキスペースに飛び出したバスルームも、この家の大きな魅力になっています。海を見ながら、裸で過ごす快楽をどうぞ。

Theme 海を見下ろすガレージハウス 脱都会暮らしの実際例

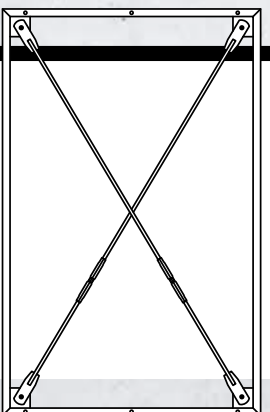
冷静になって考えてみると、窮屈な都会の暮らしにしがみついている必要はないかもしれません。今回提案するのは海が見えるガレージハウス。この家で人生の第二章を送ってみませんか？



慌ただしい都会の生活を卒業して海の見える場所で好きなクルマやバイクに囲まれながら現役生活の後半戦を生きていきたい。最近そのような要望が多く寄せられます。ゆっくりと流れる時間。朝の空気の美味しさ。夜の静けさと波の音。しかもそれは別荘ではなく、あくまでも日常の住まいで、現役生活の場所として考える。ワークスタイルの変化やインターネットの発達でこのような生活が妄想ではなく、現実のものとして考えられるようになりました。今回は、デイトナハウスが実際に設計している実例を題材に、充実人生とガレージハウスについて考えてみました。

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「C チャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。



INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行。

代表: 玉田敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk), Soma YOKOI